

第1回道路陥没防止に関する連絡会議 議事要旨

1 議 事

- (1) 近年の道路陥没発生状況について
- (2) 道路及び道路埋設施設の管理状況について
- (3) 八潮市陥没事故を受けた対応について
- (4) 意見交換

2 議事要旨

八潮市道路陥没事故の概要と対応について生活排水課から説明を受けた後、各施設の管理状況や、八潮市陥没事故を受けた対応及び課題について意見交換を行った。

今後、道路保全課が行っている緊急路面下空洞調査の結果がまとまった後、第2回連絡会議を開催する。

【構成員からの主な意見等】

構成員	内 容
環境ふれあい課	・主に県有地内で完結する10路線、約20kmを管理。通常点検及び定期点検は指定管理者が行い、施設の健全性を確認している。
森林整備課	・環境ふれあい課が所管する県有林以外は、市町又は森林組合が管理。 ・今のところ今回の八潮市の事故を受けた統一的な対応は依頼していないが、所管省庁である林野庁から連絡がきたらそれに応じて対応していく。
農地整備課	・農道は管理者が市町で、点検状況等も管理者によるものとなっている。 ・農業用水管は土地改良区や市町等で管理していただいているので、点検の頻度等もそれぞれの管理者によるものとなっている。 ・埋設管は施設台帳で位置の確認はできるが、地下にあるため、しっかりとした調査をしないと詳細の状況は確認できないところが課題である。
道路保全課	・八潮市事故を受けて、路面下空洞調査を緊急実施している。 ・今後は、3次元点群データプラットフォームに各施設の情報を紐付けていきたい。
河川海岸整備課	・河川区域内は、管路等の埋設物を縦断的に占用することは原則認めていないので、八潮市のような事故は起こりにくいと考えている。
港湾整備課	・八潮市の事故以来、これまでにすべての路線をパトロールして支障が無いことを確認するとともに、過去2箇年の履歴調査を行っている。 ・占用物件の有無については台帳で管理しているが、詳細な位置については整理されていないところが施設管理の課題。

漁港整備課	<ul style="list-style-type: none"> ・八潮市の事故を受けての対応は、過去2箇年の履歴調査を行っている。今後、道路下の空洞調査について検討していきたい。 ・占用物件の有無については台帳で管理しているが、詳細な位置については整理されていないというところが施設管理の課題。
水資源課	<ul style="list-style-type: none"> ・水道事業は市町等が事業主体となっており、点検についても各事業主体が決めた計画に基づいて行っている。 ・近年では衛星やAIを用いてリスク判定する取り組みも行われている。
生活排水課	<ul style="list-style-type: none"> ・八潮市の事故を受けて、国からの指示により緊急点検を行ったが、県管理の下水道管に異常はなかった。 ・現在、各市町から腐食の恐れの大い箇所XY座標を集めている。
企業局 水道企画課	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、水道管の健全度診断に係るAI技術を導入した。診断の結果管理延長の97%で健全化が確認された。 ・現在、水道管の管理台帳の3次元モデル化に取り組んでおり、将来的には、他の埋設占用物も交通基盤部のデータプラットフォームに取り入れることができれば一元で管理することができる。
建設政策課	<ul style="list-style-type: none"> ・住民からの異常事態に関する情報は非常に重要である。DXであったり、AIの活用が検討できないか。
デジタル戦略課	<ul style="list-style-type: none"> ・AIの活用は、効率的な施設管理を行うツールとして活用する余地があると考えている。デジタル技術の活用の面から取り組んでいきたい。